

【離職女性のキャリア支援に取り組む皆様へ】

男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業



文部科学省

学びから社会参画へ

包括的なキャリア
形成支援を行うために

—女性のキャリア形成支援のための事例集—



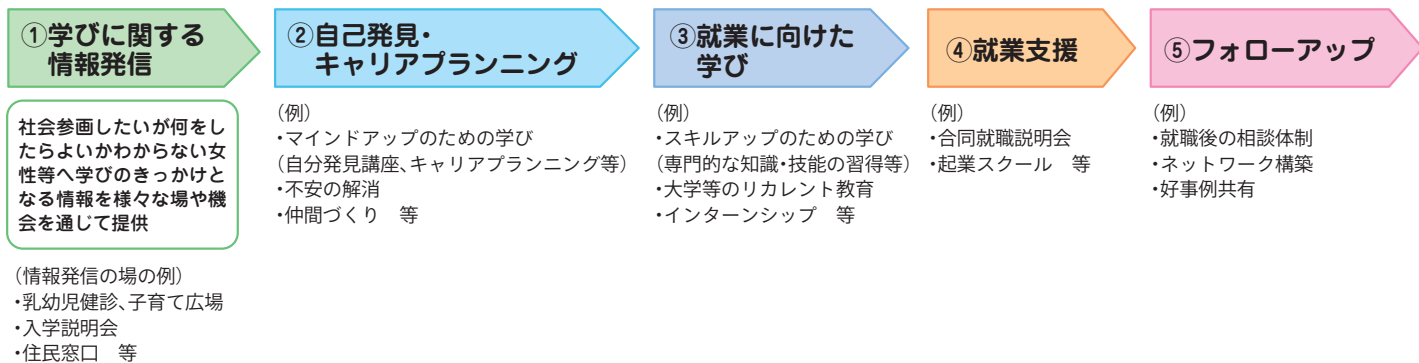
人生100年時代を迎える中、男女がともに仕事と家庭、地域における活動に参画し、活躍できるような社会の実現を目指すためには、個人の可能性を引き出すための学びが必要不可欠といえます。特に女性においては、出産・子育てを理由に離職する割合が高く、女性が子育てをしながら学びやすい環境の整備と、学びから社会参画へつなげるキャリア形成支援を包括的に推進していくことが必要です。

文部科学省では、平成29年度より「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」において、子育て等で離職した女性を対象に、地域の中で女性の学びとキャリア形成・再就職支援を包括的に行う仕組みづくりに関する実証事業を実施してきました。

本リーフレットは、地方公共団体や男女共同参画センター・社会教育施設、大学・専修学校等、産業界、就業支援機関等の皆様が、女性の学びを通じた社会参画支援を行う際に参考となる事例を紹介します。

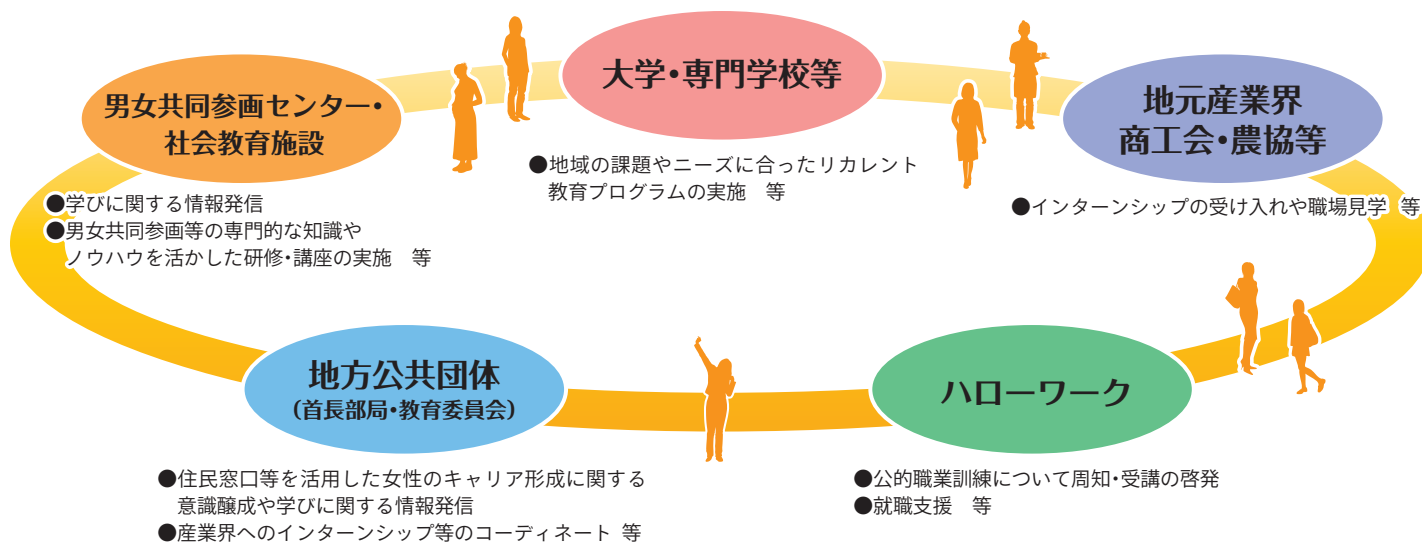
学びを通じた社会参画を推進するための方策について

女性の学びを通じた社会参画を推進するためには、下記の①～⑤のように学びの入り口から出口まで切れ目のない支援が必要です。



上記①～⑤の各段階において、地域の男女共同参画センター・社会教育施設、大学等、産業界、就業支援機関等が、これまで行ってきた支援やノウハウ、強みを生かし、連携する必要があります。

地域で連携して女性の学び・キャリア形成を支援



※①～⑤の各段階における学びの方策についての提言は、報告書「学びを通じた女性の社会参画」(令和2年3月 男女共同参画推進のための学び・キャリア形成に関する有識者会議)を御参照ください。
http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/kyoudou/detail/1388455.htm



次から紹介する「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」採択事例は、離職女性のキャリア形成支援を課題とし、関係機関の連携により包括的な支援の実施を目指したものです。

各事例で実施された「関係機関との連携のための工夫」「離職女性へのアプローチの方法」等、効果的な支援を実現するための工夫を紹介します。地域の実情にあわせて参考にしてください。

関係機関との連携による女性の学び直しを通じた社会参画支援の取組事例

事例の詳細については、文部科学省のホームページでご覧いただけます。(https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/kyoudou/detail/1388455.htm)

事例1 受講者のニーズに応じた オーダーメイド型キャリア形成支援

事業者:国立大学法人富山大学

事業の概要

大学が中核となり、県や大学、ハローワーク等で実施されているリカレント教育、職業訓練を有機的につなぎ、受講者のニーズに沿った段階的な学びの講座(PCの活用法のほか、教養やグループコーチング等)を提供。大学内に設置した学びのコーディネーターデスクが、ワンストップで学びのプラン作成から保育情報等の提供、就職・キャリア相談等を実施。

対象

産休・育休中の女性、再就職を希望する女性

事業の成果

受講者の中には再就職したり、職業訓練を開始した女性もいます。また、受講者へのアンケートから、本事業による「学びの入り口の提供」が、育休取得後の職場復帰支援や離職者の再就職支援になっただけではなく、自身のキャリアを再考するきっかけとなったことがわかりました。



リーフレット(平成30年度)



講座風景



受講時の託児サービス

効果的な支援を実現するための工夫

- 中核となる機関に、コーディネーターデスクを設置し、女性の個別相談に対応
- 各機関と連携しながら、情報提供及び相談支援
- 講座の受講が「求職活動実績」に認定されるよう手続きし、対象者にPR
- 受講時の託児サービス等の保育支援

事例2 自立を目指す女性のための 学び直しを通じたキャリア形成支援

事業者:公益財団法人せんだい男女共同参画財団

事業の概要

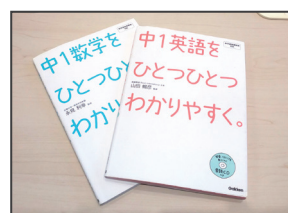
民間の学習支援団体と連携し、伴走型の学習支援による学び直しを実施。これまで十分に学ぶ機会がなかった女性に対して、学び直しによって国語や算数等の基礎学力の向上を目指すとともに、キャリアカウンセリングにより目標を設定し、再チャレンジを支援。

対象

高校中退や中卒等、10代で十分な学びの経験を得ることができず、就職活動においても影響を受けているシングルマザーや若年無業等の女性

事業の成果

学習意欲の向上が自己肯定感の高揚や就業意欲の向上につながり、キャリア選択の幅を広げ、ステップを踏んでいくきっかけとなり得ることを実証。参加者の7割に学習意欲、自己肯定感、就業意欲で上昇がみられました。また、社会参画に困難を抱えていた女性が企業に就職し、男女共同参画センターによるキャリアカウンセリングによって、資格やさらなるキャリアチェンジへの関心を持つようになった例もあります。



学習支援で使用するテキスト(一例)



効果的な支援を実現するための工夫

- 困難を抱える女性の支援団体・機関への情報提供と対象者の参加を促すための協力依頼
- 対象者と接点を持つと思われる団体・機関(ひきこもり支援団体、子ども食堂運営団体等の子供支援団体など)への情報提供及び協力依頼
- 対象となる女性に寄り添い、各々のケースに合わせた柔軟な学習計画・支援

事例
3-①

多様な女性活躍を支える
ターゲット別プログラム

平成
30
年度

事業者：一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会

事業の概要

「就業（継続就労、再就職）」「起業」「地域貢献」の多様なターゲット別コースを用意。大学や企業等との協力により、グループワーク等の体験型・実践型の学習プログラムを提供するとともに、複数のコースの同時体験も可能とし、女性自らによるキャリア&ライフデザインを支援。



平成30年度 起業講座

対象

子育て等で離職中の女性

事業の成果

全てのプログラムにおいて、参加者の9割以上に意識変容がみられました。「起業」プログラムの参加者の中には、講座を受講したことにより、漠然としたイメージが具体化したり、自己分析により自分の強みや起業のコンセプトが明確になる等し、起業に向けてスタートをきった女性もいます。



チラシ（平成30年度）

効果的な支援を実現するための工夫

- キャリアステージが異なる人との出会い・学び合いの場とするため、すべてのプログラムにおいて交流・ネットワークを構築する時間を設定
- 男女共同参画センターが核となり、センターが有する他の機能（情報提供や相談事業等）と組み合わせながら学びをサポート

事例
3-②

子育て中の女性へのeラーニング
等を通じたキャリア形成支援

令和元
年度

事業者：一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会

事業の概要

幼稚園や小学校等と連携し、保護者にライフプランニングへの関心を高める冊子を配布。自身の生き方を考えるきっかけを提供するとともに、ライフプランニングに関するセミナーや再就職に役立つ学びをeラーニングにより提供し、キャリア形成を支援。



令和元年度ライフプランニング講座

対象

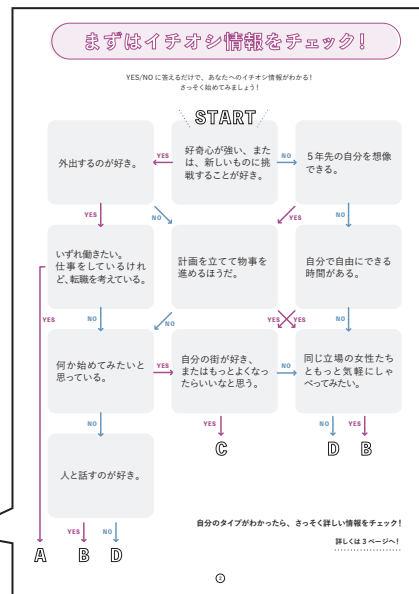
子育て等で離職中の女性

事業の成果

就学前の子供を持つ保護者を中心に、自身のライフプランニングについて関心を得ました。セミナーでは参加者全員が「今後のライフプランを考える上で役に立った」「行動を起こすきっかけになった」と回答。eラーニングで再就職の準備を進めている女性もいます。



配布した小冊子



気軽に試せるYES/NOチャート

効果的な支援を実現するための工夫

- 男女共同参画センター等のセミナーに参加したことのない女性にも情報が届くよう、広報物約7,000部を幼稚園や小学校等を通して配布
- ライフプランニングへの関心を高める冊子には、気軽に試せるYES/NOチャートを掲載
- 3～10分で視聴できるコンテンツで、スキマ時間に学習ができるeラーニングを用意

事例
4

妊産婦を中心とした
子育て中の女性へのキャリア形成支援

事業者:株式会社アクセプト

事業の概要

女性の就労に力を入れている地域において、自治体の母子保健に関する課や産婦人科等と連携し、妊産婦を中心とした女性を対象に、学びやキャリア形成に関するミニ冊子を制作・配布。特設サイトを通じた情報発信やセミナー等によりキャリア形成に対する意識を醸成。

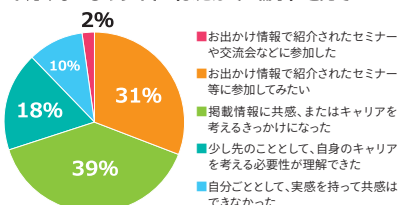
対象

妊産婦を中心とした子育て中の女性

事業の成果

冊子やSNSを通してウェブサイトへ誘導し、事業実施期間中に累計約2,000人のユーザー数を増やした。多くのユーザーに「掲載情報に共感、またはキャリアを考えるきっかけになった」「少し先のこととして、自身のキャリアを考える必要性が理解できた」という意識変容がみられ、実際にウェブサイトで紹介されたセミナー等に参加した、もしくは今後参加したいと考えている女性もいます。

ふえみな〜のサイト（またはミニ冊子）を見て



特設サイト「ふえみな〜」



ミニ冊子配布による告知

効果的な支援を実現するための工夫

- 自治体(母子保健、子育て支援、就労支援に関する課)、産婦人科・助産院、男女共同参画センター等、対象者と接点を持つ組織・団体と連携し、ミニ冊子を配布
- 発信力のある女性の協力を得て、各々のネットワークを通じて情報を拡散(SNS等を活用)

事例
5

地方等のニーズ調査による
リカレント教育モデルの構築

事業者:学校法人日本女子大学

事業の概要

リカレント教育へのニーズ把握のために、女性と企業を対象に調査を実施。女性は英語、ITスキル、簿記・会計や仕事術に係る講座等へのニーズが高く、企業側はコミュニケーション能力や会計、IT等のスキルを求めることが明らかになった。それらを踏まえ、5回の講座(ダイバーシティ、コミュニケーションスキル、ストレスマネジメント、業務効率等)を開発・試行。

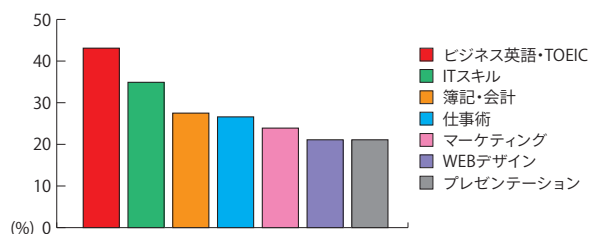
対象

再就職希望の社会人女性

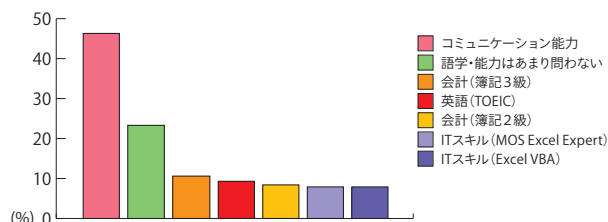
事業の成果

受講者は全ての講座について高い満足度。特に、コミュニケーションスキルや業務効率に関する講座は、受講者全員から今後の仕事に役立つという評価を得ました。

学びたい分野の希望(上位7位)(専業主婦のみ抜粋)(※1)



女性の中途採用者に求める資質とスキル(※2)



効果的な支援を実現するための工夫

- 再就職支援のためのリカレント教育課程には、英語、IT、仕事術、簿記等の実践的プログラムが有効
- ストレスマネジメントやコミュニケーションスキル等、講座によってはワークショップを取り入れることが有効

(※1) 全国の25歳〜54歳の一般女性に対するモニター調査 (※2) 日本女子大学が東京労働局、東京商工会議所、文京区、豊島区、鳥取県の協力を得て実施した企業調査(複数回答可のため、構成比の合計が100%を超える)

関連交付金について

本リーフレットで紹介した事例を参考に、女性の学びを通じた社会参画支援を行う場合、以下の交付金の活用が考えられます。

地域女性活躍推進交付金(内閣府)

都道府県及び市町村(特別区を含む)が、地域の実情に応じて行う女性の活躍推進に資する取組を支援

【問い合わせ先】

内閣府男女共同参画局総務課(地域担当)

http://www.gender.go.jp/policy/chihou_renkei/index.html

電話 03-3581-2111 (内線 37516 / 37517)

FAX 03-3581-9566



事例に関する問い合わせ先一覧

国立大学法人富山大学

電話(076)445-6083

住所 〒930-8555 富山県富山市五福3190

URL <https://www.u-toyama.ac.jp/>



公益財団法人せんだい男女共同参画財団

電話 (022)212-1627

住所 〒980-6128 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AER29階

URL <https://www.sendai-l.jp/>



一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会

電話(06)7656-9040

住所 〒543-0002 大阪府大阪市天王寺区上汐5-6-25

URL <http://danjo.osaka.jp/index.html>



株式会社アクセプト

電話(06)6251-6060

住所 〒542-0083 大阪府大阪市中央区東心斎橋1-14-15

URL <https://www.accept-inc.co.jp/>



学校法人日本女子大学

電話(03)5981-3751

住所 〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1

URL <https://www5.jwu.ac.jp/gp/recurrent/>



文部科学省 総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課 男女共同参画学習室

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

●男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援

(報告書「学びを通じた女性の社会参画」や事例の詳細について掲載しています)

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/kyoudou/detail/1388455.htm

